

みんなの

ちいき

ふくし

CHI-KI FUKUSHI SOJA CITY COUNCIL OF SOCIAL WELFARE

社協だより

vol.47



CONTENTS

事業報告・決算報告	2
地区社協ニュース	4
生活支援サポーター養成講座	6
権利擁護センター“しえん”	7
千人雇用センター・地域活動支援センター	9
基幹相談支援センター	12

夏のボランティア体験



実施中!!!



社会福祉法人 総社市社会福祉協議会

「すべての住民が、自分の住み慣れた地域で、自分らしく、生き生きと、豊かに暮らせるふれあい、助け合い、支え合いのある住民主体の福祉コミュニティの実現」

平成27年度 事業活動計算書

(単位：円)

勘定科目		決 算
【サービス活動増減の部】		
収 益	会費収益	14,566,580
	寄付金収益	5,052,203
	経常経費補助金収益	77,579,001
	受託金収益	93,482,402
	事業収益	2,574,949
	負担金収益	2,684,038
	介護保険事業収益	71,007,394
	障害福祉サービス等事業収入	28,691,821
	その他の収入	626,152
	サービス活動収益計(1)	296,264,540
費 用	人件費	233,061,179
	事業費	25,814,263
	事務費	15,379,433
	助成金支出	26,475,132
	減価償却費	9,310,600
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 5,490,000
	サービス活動費用計(2)	304,550,607
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 8,286,067

(単位：円)

勘定科目		決 算
【サービス活動外増減の部】		
収 益	受取利息配当金収益	180,850
	雑収益	1,017,660
サービス活動外収益計(4)		1,198,510
費 用		
	サービス活動外費用計(5)	0
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		1,198,510
経常増減差額(7)=(3)+(6)		△ 7,087,557
【特別増減の部】		
収 益		
	特別収益計(8)	0
費 用	固定資産売却損・処分損	32,981
	その他の特別損失	17,690,000
特別費用計(9)		17,722,981
特別増減差額(10)=(8)-(9)		△ 17,722,981
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		△ 24,810,538
【繰り越し活動増減差額の部】		
前期繰越活動増減差額(12)		126,173,879
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		101,363,341
基本金取崩額(14)		0
基金取崩額(15)		0
その他の積立金取崩額(16)		0
その他の積立金積立額(17)		50,000
次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)		101,313,341

平成27年度 貸借対照表

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
	当年度末		当年度末
流動資産	129,165,894	流動負債	26,021,861
現金預金	77,720,089	事業未払金	23,952,596
事業未収金	47,463,925	預り金	27,054
未収金	11,880	職員預り金	2,042,211
未収補助金	3,970,000	固定負債	122,190,366
固定資産	705,980,537	退職給付引当金	122,190,366
基本財産	143,755,400	負債の部合計	148,212,227
建物	140,755,400		
定期預金	3,000,000	純資産の部	
その他の固定資産	562,225,137	基本金	3,000,000
車両運搬具	587,435	基金	262,305,548
器具及び備品	7,767,389	福祉基金	170,330,000
緊急援護資金貸付金	2,373,000	報奨基金	2,572,548
退職手当積立基金預け金	109,176,450	地域福祉活動基金	89,403,000
福祉基金積立資産	170,330,000	国庫補助金等特別積立金	140,300,000
報奨基金積立資産	2,572,548	国庫補助金等特別積立金	140,300,000
地域福祉活動基金積立資産	89,403,000	その他の積立金	180,015,315
運用資金積立資産	140,015,315	運用資金積立金	140,015,315
備品等購入資金積立資産	40,000,000	備品等購入資金積立金	40,000,000
		次期繰越活動増減差額	101,313,341
		次期繰越活動増減差額	101,313,341
		(うち当期活動増減差額)	△ 24,810,538
		純資産の部合計	686,934,204
資産の部合計	835,146,431	負債及び純資産の部合計	835,146,431

～平成27年度 主な事業実績～

1. 法人運営事業

- (1) 社会福祉協議会基盤強化に関する調査、研究
 - ① 第22回岡山県保健福祉学会で研究発表（1月25日）
・総社市における「ひきこもり支援」の取り組みについて（審査委員奨励賞受賞）
～社会的孤立の解消からつながる創縁社会の実現をめざして～
 - ② 入居保証に関するアンケート調査の実施 ③ 障がい者虐待実態調査の実施
 - ④ 生活困窮者支援に関する生活支援物資に関するアンケート調査の実施
- (2) 広報紙の発行、ホームページの作成と更新
 - ① 「みんなのちいきふくし」の発行・年4回（1回あたり24,500部）発行

2. 地域福祉活動事業

- (1) 住民主体の地区社協活動・小地区社協活動の推進
 - ① 地区社協会長会議の開催 年4回開催
 - ② 「地区社協活動推進事業計画」の実施
 - ③ 福祉のまちづくり座談会の開催
「ひきこもり支援に関する民生委員・児童委員及び福祉委員懇談会」を12月15日から地区社協単位を基準に17地区（9地区社協）で順次実施した。
 - ④ 小地域ケア会議との連携
 - ⑤ 職員の地区担当制による推進
- (2) 民生委員児童委員活動との連携
- (3) 福祉委員活動の推進
 - ① 全町内会・自治会等に福祉委員の配置を推進 573人（45世帯に1人の配置）
 - ② 地区福祉委員会、市福祉委員協議会の活動支援 ③ 委嘱会の開催
 - ④ 研修会（民生委員合同・初任者等）の実施
 - ⑤ 「福祉委員だより“ささえあい”」の発行
- (4) ふれあいサロン事業の推進
 - ① ふれあいサロンの立ち上げ、運営支援
 - ② ふれあいサロン研修会、交流会の開催
 - ③ ふれあいサロン活動助成金の交付
・申請 206か所 ・助成 203か所（総額 4,442,000円）
- (5) ボランティアセンター事業の実施
 - ① ボランティア（グループ、個人）活動の支援
・ボランティア登録（82グループ、個人4人）
 - ② ボランティア活動のコーディネート ・54件実施
 - ③ ボランティアの養成及び活動の推進・支援
 - ④ 「夏のボランティア体験事業」の実施
・市内の中学生・高校生145人参加 ・26事業所で活動
・事前・事後研修会の実施
 - ⑤ ジュニアボランティア養成講座の開催
 - ⑥ 団塊世代など向けのボランティア養成講座の開催
 - ⑦ ボランティア連絡協議会の支援
・18団体、275人 ・総会・交流集会・視察研修・役員会の実施
- (6) 災害ボランティア支援活動の研究・検討
 - ① 災害ボランティアセンター活動マニュアルの検討
 - ② 災害ボランティア養成講座の開催
 - ③ 災害ボランティアの登録 平成27年度17人登録（総数112人）
 - ④ 総社市防災訓練への参画 11月15日（日）／昭和地区社協の協力
- (7) 福祉教育の推進
 - ① 社会福祉学習支援事業の実施
・実施件数：小学校8件、中学校1件、高校1件、企業1件
 - ② 県立高校社会貢献活動との連携 南高：延308人 総高：延30人
- (8) 生活福祉資金等の貸付
 - ① 生活福祉資金の貸付
相談件数14件（内貸付実施件数1件）
- (9) 日常生活自立支援事業の実施
 - ① 日常生活自立支援事業の実施
平成27年度新規件数7件（計12件）
 - ② 生活支援員による援助の実施
平成27年度1人増員（計6人）
- (10) 法人後見事業の実施
 - ① 法人後見事業の実施
受任件数5件（後見3件、保佐1件、補助1件）
 - ② 後見支援員による後見業務、研修事業の実施
支援員6人（市民後見人登録者）内5人が支援を実施
市民後見人定例研修へ参加（隔月）
- (11) 生活支援サービスの検討（新規）
 - ① 介護保険制度改正に伴う要支援者へのサービス開発の検討

3. 子育て支援事業

- (1) 子育て支援団体への支援
- (2) 子育てサロン事業の支援
- (3) 地域密着型子どもまつりの開催支援（地区社協子育て支援事業助成）

4. 高齢者福祉事業

- (1) 配食サービス事業の実施
 - ① 生活支援型給食サービスの実施 市から受託し、一人暮らし高齢者等に対し、食生活の安定等を目的とした「総社市給食サービス事業」を全市（山手・

清音地区を除く）で実施。

- ② 地区給食サービスの実施（地区社協主催で実施）
- (2) 敬老会の開催（地区社協主催で開催）
- (3) 高齢者等団体（老人クラブ、ひとり暮らし高齢者の会、介護者の会）の支援

5. 障がい者福祉事業

- (1) 障がい者基幹相談支援センターの設置運営
 - ① 相談支援の実施（電話、来所、訪問、その他）
 - ② 障がい者地域移行・地域定着支援の実施
- (2) 発達障がい者支援体制整備事業
 - ① 発達障がい者支援ネットワークの構築
 - ② 発達障がい支援者養成講座の開催
- (3) 障がい者千人雇用センターの設置運営
 - ① 障がい者就労支援の推進
 - ② ジョブコーチ（職場適応援助者）支援の実施（新規）
 - ③ 就労支援セミナーの開催（新規）
- (4) 障がい者地域活動支援センター（I型）「ゆうゆう」の設置運営
 - ① 日中活動支援事業 ② 料理教室の開催
 - ③ 障がい者支援ボランティアの養成
- (5) 地域自立支援協議会の運営
 - ① 全体会議・運営会議・実務担当者会議・部会・プロジェクトチームの運営
 - ② 障がい者福祉フォーラム（ハートフルそうじゃ）の開催
- (6) 意思疎通支援事業の実施
 - ① 手話奉仕員養成講座の実施② 手話奉仕員・通訳者登録派遣事業の実施
 - ③ 要約筆記奉仕員養成講座の実施④ 要約筆記奉仕員登録派遣事業の実施
 - ⑤ 点訳ボランティアへの支援
- (7) 障がい者（児）団体の支援

6. 権利擁護事業の設置運営

- (1) 権利擁護センターの設置運営
 - ① 運営委員会の開催
 - ② 支援検討委員会の開催
 - ③ 虐待防止対策事業の実施
 - ④ 成年後見制度利用支援事業の実施
 - ⑤ 入院・入居支援事業の実施
 - ⑥ 犯罪被害者支援事業の実施
 - ⑦ 市民後見人養成事業の実施
 - ⑧ 市民後見人フォローアップ事業の実施
 - ⑨ 法律ミニ講座の開催
 - ⑩ 専門職向け法律相談の実施
 - ⑪ ミニなんでも相談会の開催
- (2) 生活困窮支援センターの設置運営
 - ① 協議会の開催
 - ② ワーキンググループ（WG）の開催
 - ③ 支援調整会議の開催
 - ④ 自立相談支援事業の実施
 - ⑤ 家計相談支援事業の実施
 - ⑥ 学習等支援事業の実施
 - ⑦ 中立的就労事業の検討
 - ⑧ 開設1周年記念事業の実施（新規）
- (3) 市町村社協活動活性化事業の実施（新規）
 - ① ひきこもり支援等検討委員会の設置 ② 委員会の開催
- (4) 社会福祉法人との連携事業

7. 在宅福祉サービス事業

- (1) 介護保険事業（居宅介護支援事業、訪問介護事業）の実施
 - ① 居宅介護支援事業（ケアプラン作成）
 - ② 訪問介護事業（ホームヘルパー派遣）
- (2) 高齢者の自立支援事業（ホームヘルプサービス、デイサービス）の実施
 - ① 高齢者ホームヘルパー派遣（自立支援）事業（市受託事業）
 - ② 高齢者デイサービス（自立支援）事業（市受託事業・社協事業）
・4月末日で事業廃止
- (3) 在宅福祉機器貸出し事業の実施
- (4) 障がい者居宅介護事業の実施
- (5) 指定特定・障がい児相談支援事業の実施
- (6) 障害支援区分認定調査の実施

8. 福祉センター等管理運営事業

- (1) 総社市総合福祉センターの管理運営
- (2) やすらぎの家、さんあいの家、ひだまりの家、山手ふれあいセンターの指定管理

9. 共同募金・歳末たすけあい運動の実施

- (1) 共同募金・歳末たすけあい募金の実施
 - ① 共同募金 実績額 10,068,451円
 - ② 歳末たすけあい募金 実績額 252,000円
- (2) 共同募金事業の実施
 - ① 共同募金ポスターコンクールの開催
- (3) 歳末たすけあい事業の実施（寝たきり者への友愛訪問事業）

10. 赤十字事業

- (1) 日赤社資増強運動の推進
- (2) 災害救援事業の実施
 - 災害被災者の救護
 - 災害時のためのハイゼックス等による炊き出し訓練（イベント内含む）
- (3) 赤十字奉仕団活動の推進及び助成
- (4) 赤十字事業普及のための広報活動

11. 災害救援活動、災害救援募金の実施



総社地区社協

刑部町内会、西山町内会のご紹介

刑部町内会と西山町内会で「階田老人クラブ」を結成し、毎年移動総会、趣味の作品展展示会等を実施し、親交を深めております。

趣味の作品展では、それぞれに持っている特技を発表され、書道・絵画・写真・手芸・盆栽ありと本当にたくさんの方の力作を刑部公会堂いっばいに展示されます。

健康増進には、百歳体操を刑部町内会は毎週火曜日、西山町内会は毎週金曜日に実施されており、それぞれの出席者が当番制で進行し「1・2・3・・・」と声を掛け合い談笑し、週1回の楽しい一時を過ごしております。

刑部町内会では、「サロン・おしかべ笑納会」を毎月第2火曜日に開催し、室内運動会・出前講座・おかし作り等その時々々の季節に合わせて、創意工夫し笑顔で参加しております。

両町内共、高齢化は進んでいます。皆様の笑顔がお互いの力となり、お元気に日々過ごされることを願っております。



服部地区社協

座談会を岡山県立大学学生と

岡山県立大学と交流を深めるため、5月16日及び7月4日、同大学で学生30数人と民生委員・児童委員、福祉委員などで座談会を開催しました。

学生側から、自らが事前に調査した服部地区内5地区の世帯数、男女別人口、社会資源、地域の特色などについて、地域の現状と課題の意見交換を行いました。

特に、「地域住民同士の交流」「高齢者及び子どもたちの見守り」「防犯活動」の議題では、議



論が深まり大変有意義な座談会となりました。

また、お互いのあいさつ、交通マナーなど身近な「ふれあい」についても率直な議論を行いました。

これからも、このような場を重ねて交流を深め、「地域住民が気楽にキャンパスを訪れるように」「学生たちが地区の行事に積極的に参加できるような」に努めたいと思います。





神在地区社協

秋は「集まる会」



地域の新しい交流の場づくりとして、平成27年11月29日(日)に、秋は「集まる会」を初めて開催しました。今回は高齢者支援として75歳以上の方に案内したところ、実際に対象者の3分の1以上、約80名の参加がありました。内容について「ウォーキング」や「史跡めぐり」等色々検討、試行した結果、昔懐かしい映画、喜劇「運が良けりゃ」上映と「お口のトレーニング」「全員で合唱」といった内容でした。

特に映画上映では、40年以上前の作品で出席者の青春時代と重なり、懐かしさあり、笑いありで主催者としても大変嬉しく思いました。特に感動したのは、男性の出席者が過半数だったことや重病で数年ぶりに顔を見た方の明るい表情でした。今後も各地区の公会堂を活用して高齢者に限らず、多世代交流の場を数多く実施したいと思えます。



開催決定！！

福祉のささえあいフォーラム in 総社 2016

『自分の住み慣れた地域で、自分らしく生き生きと豊かに暮らせる』まちづくりを推進するため、福祉のささえあいの大切さを再認識し、地域における『見守り・ささえあい活動』の輪が広がることを目指して開催します。

地域福祉活動に関心のある方は誰でもご参加できます。皆さまお誘いあわせの上、多数ご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします！



日時：9月3日(土) 13:00～15:30

会場：総社市総合文化センター(市民会館)

総社市中央三丁目1-102

※駐車場に限りがありますので、乗り合わせもしくは、公共交通機関でご来場ください。

基調講演 テーマ

『誰もが安心して豊かに暮らせるまちづくり』

講師：公益財団法人さわやか福祉財団

戦略アドバイザー 土屋 幸己 氏

実践報告 『福祉委員活動から広がる地域の輪！』

平成28年度

「総社市介護予防・生活支援

サポーター養成講座」を開催！

互助力

～私たちにできること～

私たちの周りには、日常生活の場面において、ちょっとしたお手伝い（ゴミだしや買い物、話し相手など）があれば、「住み慣れた地域で安心して暮らせる」方がたくさんおられます。

総社市社協では、高齢者の日常生活での困りごとを人と人のつながりによって、「お互いに支え合える」地域づくりをめざして、「介護予防・生活支援サポーター養成講座」を開催しました。

「認知症への理解について」



「いきいき百歳体操を体験」



「勝央町への視察 （意見交換）」



★介護予防・生活支援サポーターとは…

地域の高齢者等が日常生活の中で、「ちょっと困っていること…」に対して、地域の中でそのお手伝いをしてくださる応援団（地域住民、NPO など）のことを言います。サポーターになるには、特別な資格は必要ありません。

本講座をご受講いただき、ご登録をお願いしています。

♪ 参加者の声



友達を誘って参加している。「学ぶ」ことは、自分のためにもなると思う。「お役に立てること」があれば参加してみたい。
【60代女性】

福祉課題や制度の改正点など、「知る」ことができた。暮らしの困りごとは、誰にでも起こる！避けては通れない。お互いに助けあう気持ちが大切だと感じている！
【70代女性】

「住み慣れた自分の地域（家）で暮らし続けたい！」私もそう願う！
年齢を重ねる中で、生活の困りごとは増えるはず！制度やサービスも変化する！「誰かが、〇〇で困っている」「〇〇を必要としている」時、地域の仲間・応援団として、一助になれば…
【60代男性】

今後もサポーター養成講座を開催します！

総社市に**支え合いの輪**が広がりますように！

平成28年度法律ミニ講座

のご案内

総社市権利擁護センター「しえん」では、今年度も市民の皆様を対象に法律を気軽に学べる「法律ミニ講座」を開催しています！！講師は、権利擁護センターの山内弘美弁護士です。具体的な事例を通して生活に身近な法律を学びましょう！！

第4回：平成28年 9月29日（木） 14：00～15：30

「借金のトラブル」

第5回：平成28年 10月27日（木） 14：00～15：30

「消費者被害」

第6回：平成28年 11月24日（木） 14：00～15：30

「交通事故」



会場は、総合福祉センター2階技能習得室です。

興味関心のあるテーマのみの参加、通年での参加の申し込みも随時受け付けておりますので、皆さまお誘いあわせの上、お気軽にご参加ください。

＜お申し込み・お問い合わせ＞

総社市権利擁護センター“しえん” 総社市中央1-1-3

TEL (0866) 92-8374 FAX (0866) 92-8284

連載 第11回

「交通違反と

他人の氏名使用」



総社市権利擁護センター
“しえん”
弁護士 山内 弘美

自動車を運転中、つい一時停止しなければならない場所で停止せず、警察官に止められた場合、交通反則告知書（通称「青切符」）への氏名や住所の記載が求められます。そのとき、点数を引かれたり、反則金を払うのが嫌だな、もしここで他人の名前を書いたら逃げられないかな、と頭をよぎったことはないでしょうか。青切符の場合、点数を引かれたり、反則金を支払う必要がありますが、これらは全て行政罰に分類されます。反則金は罰金とは異なりますので、反則金を支払ったからと言って、前科にはなりません。他方、他人名義を勝手に使用した場合、使用した人には「有印私文書偽造罪・同行使罪（刑法159条、161条）」が成立し、3月以上5年以下の懲役が科せられます。初犯で検察官が処分の必要性なしと判断すれば不起訴となることもありますが、起訴されれば例え執行猶予（決められた期間中に再度犯罪を起こさなければ刑務所に服役しなくてもよい制度）の判決でも前科となります。他人に自分の名前を青切符に書いてもいいと承諾した人も有印私文書偽造罪・同行使罪の共犯となります。

前科は、報道されてなければ自分が言わない限り他人が知ることはありませんし、会社に告げる必要もありません。ですので、前科があるからといって特段日常生活に影響はありません。ただ、禁固以上の前科があると特定の職業に就けなかったり就職に不利になることはありますし、再度犯罪を起こしたら裁判で不利に判断されることもあります。交通違反であっても、罪を逃れようとすると更に重い罪が科せられる可能性がありますので、お気を付けください。

総社市権利擁護センター “しえん” は開設 4 年目を迎えました！

成年後見制度って何？
どうすれば利用できるの？



虐待かも…
どうしたらいいんだろう？

総社市権利擁護センター “しえん” は、虐待や成年後見、入居が困難な方等の相談を受け、市民の皆さまに代わって関係各機関との連絡調整を行い、迅速に解決に結びつけます。皆さまの困りごとを相談してみてください。

平成 28 年 11 月 23 日 (水・祝)

総社市権利擁護推進セミナー (仮称) を開催します！

基調講演とシンポジウムには大阪市立大学大学院教授の岩間伸之先生をお迎えします！

ぜひご参加ください！！

<お申し込み・お問い合わせ>

総社市権利擁護センター “しえん” 総社市中央 1-1-3

TEL (0866) 92-8374 FAX (0866) 92-8284

総社市生活困窮支援センター



総社市生活困窮支援センター協議会を開催しました。

総社市生活困窮支援センターでは、平成 28 年 5 月 23 日に「平成 28 年度 第 1 回 総社市生活困窮支援センター協議会」を開催しました。

はじめに、**西田 和弘 会長** (岡山大学大学院 教授) からご挨拶いただき、事務局から「平成 27 年度 総社市生活困窮支援センター相談実績」、「平成 28 年度 総社市生活困窮支援センター協議会の取り組み」について報告しました。



近藤 理恵 委員 (岡山県立大学 教授) には「総社市におけるひとり親世帯の子どもの現状と支援策に関する調査報告の概要」を説明いただきました。

ご出席いただいた委員からは「ひとり親世帯や子どもに対する支援の必要性」が提起され、学習等支援教室「ワンステップ」の進め方も含めて、ワーキンググループで検討していくことになりました。

総社市障がい者
千人雇用センター

日中活動事業所説明会 2016
を開催しました！！



事業所説明会



障がい福祉サービス利用説明会

平成28年6月11日、総社市内にある日中活動系障がい福祉サービス事業所（生活介護、就労移行支援、就労継続支援A型・B型、施設入所、自立訓練）の説明会を開催しました。

会場内には、事業所紹介スライドコーナーや手作り品販売コーナーを設置しました。別会場では、障がい福祉サービス利用についての説明会も同時開催しました。

実習先や進路先の情報を求めて支援学校の生徒やその保護者など100名を超える方々に来場いただきました。

この説明会は、総社市地域自立支援協議会の日中活動事業所連絡会が毎年主催しているもので、今年度で3回目になります。

昨年度アンケートから「質疑応答の時間がほしい」との声が多かったため、今年度は、事業所が持ち時間内で順番に説明する形式から18事業所がそれぞれブースを設置する形式に変更しました。

来場者からは、「進路の参考になった」「事業所の方に直接聞きたいことを質問できたのがよかった」「ブース形式は、とても良かった。ただ、待ち時間が長すぎる」「毎年、開催してほしい」などのご意見がありました。ご意見は、来年度の参考にさせていただきます。

ご意見は、来年度の参考にさせていただきます。



障がい者地域活動支援センターゆうゆう

地域活動支援センターゆうゆうでは、障がいのある方が日中くつろいでいただける場を提供しています。料理・カラオケ・グランドゴルフ・卓球など色々な行事を行っています。



- 利用できる方：18歳以上で身体・知的・精神障がいのある方
(利用契約が必要です)
- 利用料：無料（活動にかかる費用は実費）
- 開館時間：午前9時～午後5時
月～金曜日、第2・4日曜日（年末年始、祝祭日は除く）

《お問い合わせ先》

地域活動支援センターゆうゆう

総社市清音軽部1135（清音福祉センター内）

TEL 92-2566 FAX 92-8162

☆ ボランティアさんも募集しています！！ ☆

子ども用車いす寄贈



平成28年5月13日に、「株式会社エムズ・ユー代表取締役松田 高志」様から、子ども用の車いすが寄贈されました。ありがとうございます。

今後、この車いすは、総社市社会福祉協議会にて、貸出いたします。

お気軽に、お問い合わせください。

赤い羽根共同募金運動

～ みんなを支えられ、長い歴史の灯をとれ続ける～

運動期間：10月1日～
12月31日

■総社市での募金額と使いみち

- 平成27年度に集まった一般募金額 **10,068,451 円**
総社市へ配分された一般募金の使いみち
 - ★市社会福祉協議会地域福祉活動 1,188,138 円
 - ★地区社会福祉協議会へ配分 3,901,862 円
 - ★福祉のまちづくり事業 900,000 円
- 平成27年度に集まった歳末たすけあい募金 **252,001 円**
平成27年度に集まった募金額使いみち
 - ★地区社会福祉協議会へ配分(1地区) 108,460 円
 - ★在宅寝たきり者友愛訪問(83人) 143,541 円
- 市内福祉施設へも配分されます
 - ★すずらん保育園 (備品購入)
 - ★グループホーム井手 (車両整備)
 - ★就労継続支援A型事業所めぐみ(NHK歳末) (冷凍庫整備)



平成27年度「赤い羽根共同募金ポスター作品コンクール」
最優秀賞作品
新本小学校 4年 佐田野日菜さん

今年も、全国一斉に10月1日から赤い羽根共同募金運動がスタートします。

運動期間の始まりには、市内のJR駅、量販店で福祉関係団体の方々による街頭募金活動を予定しています。

また、市内の各戸への戸別募金、学校募金、企業や商店へ協力店募金等、募金活動を地区の役員の方々のご協力を進めております。運動期間中、どうぞご協力をお願いいたします。

※ご了承をいただいた方についてのみ、紙面上に寄付金額を掲載させていただいております。

種別	金額	寄付者	住所
香典返し	200,000円	寺島 直之 亡母(愛)	総社二丁目
篤志品	子ども用車いす 2台	株式会社エムズ・ユー	岡山市北区内山下

下記については、金額の多寡にかかわらずご希望により寄付金額は掲載しておりません。

寄付者	住所	寄付者	住所	寄付者	住所
▽香典返し		板鼻千代子 亡母(真紗子)	山田	土井 誠治 亡母(花子)	中央二丁目
西田 康晃 亡母(愛子)	三輪	林 義郎 亡父(甲子郎)	西阿曾	横田 忠史 亡父(敏雄)	中原
萬成 文男 亡母(芳恵)	赤浜	野瀬 広子 亡夫(昌一)	美袋	片岡 正治 亡養父(耕三郎)	上林
吉原 均 亡母(智恵子)	富原	山本 正直 亡父(榮士)	久代	横山 久人 亡母(水川サエコ)	岡山市北区大窪
青谷 彰範 亡母(千工子)	宿	秋山 克己 亡父(勇)	総社	片山 昇 亡父(佳功)	下林
深本 健吾 亡父(繁)	井手	秋政 雅司 亡父(方一)	美袋	陶山 光枝 亡夫(正志)	美袋
石井香奈恵 亡夫(秀明)	井原市井原町	名木田俊己 亡父(保)	久代	田辺 豊 亡母(春子)	泉
吉富 始 亡二男(山崎裕貴)	小寺	能勢雄太郎 亡妻(清子)	美袋	本安 淳子 亡父(功)	下倉
室山 徳彦 亡父(好徳)	宿	中島千保美 亡夫(美貴男)	美袋	河合 良典 亡母(香織)	秦
小林 豊 亡母(登喜子)	中央二丁目	中村 公恵 亡夫(育夫)	中尾	岡本 敏夫 亡妻(絢子)	富原
高谷 浩二 亡父(正信)	岡谷	原田 貞己 亡妻(文恵)	新本	平田 勝則 亡長男(拓也)	穴粟
横田千代子 亡夫(勇)	中原	藤井 善隆 亡母(貴美子)	清音柿木	笹井 静 亡母(操)	西阿曾
小倉 修 亡父(萬壽雄)	中央四丁目	鈴木 茂巳 亡母(春恵)	原	田中貴美子 亡夫(良行)	日羽
水畑 光雄 亡父(虎一)	泉	出原 健治 亡妻(孝子)	井尻野	川上 勝 亡妻(勢津子)	山田
川西 敬子 亡夫(務)	秦	平田 悟史 亡父(克己)	穴粟	本行 正志 亡父(輝二)	見延
林 秀樹 亡母(幸子)	井尻野	狩屋 泰之 亡父(重義)	総社	本行津岐子 亡夫(清治)	見延
守安 美樹 亡夫(太偉治)	西郡	秋山 耕一 亡父(頼一)	門田		

(平成28年4月21日から7月20日まで 敬称略)

事務局長



Topics

全国屈指の
福祉文化先駆都市をめざして！
～総社市と総社市社会福祉協議会の
懇談会を開催～

りました。く膨らむ懇談会とな



5月24日、総社市と総社市社会福祉協議会の懇談会を開催しました。この懇談会は、多くの補助金・委託金を受けている社会福祉協議会の事業内容や実績を理解し、今後協働して取り組む事業を共有する場として、3年前から毎年開催しています。市からは市長、副市長をはじめ各部長や保健福祉部職員等約30名が出席。社協からは、会長、常務理事、事務局長の他、各係長が同席しました。まず、社協から事業説明を行い、その後意見交換を行いました。懇談会のまとめとしては、第2次総社市総合計画で掲げている「全国屈指の福祉文化先駆都市」の実現をめざして、市長部局、教育委員会、社協の連携を今まで以上に強化して福祉事業を推進しようとする確認することができました。

そして、社会福祉協議会はひきこもり支援のように制度の隙間にある福祉課題をしっかりと受け止め、その解決に向けて地域住民と共に取り組む決意を新たにしました。私たち社協職員にとっては、これからの地域福祉事業に対して、身が引き締まり使命感が大きくなりました。

障がいのある人の宿泊体験事業（プレ実施）

総社市地域自立支援協議会 住まいを考える部会



Aさんの体験（例）

1日目	2日目	3日目
	起床／朝食	起床／朝食
自宅	雪舟くんで通所	雪舟くんで通所
作業所	作業所	作業所
買い物	雪舟くんで帰宅	自宅
宿泊先到着	宿泊先到着	是非ご利用 ください
夕食	夕食	
入浴／洗濯	入浴／洗濯	
就寝	就寝	

障がい者の高齢化や、親亡き後を見据え、施設や家族の中で暮らしている障がい者（児）の自立を目指した事業を試行的に実施しています。

- ★利用対象者：総社市内在住の障がい者（児）
- ★宿泊期間：2泊3日程度
- ★利用料金：1,000円／1日
- ※食事代、食材代（自分で調理を行う場合）が必要



【問い合わせ先】
 総社市地域自立支援協議会事務局
 総社市障がい者基幹相談支援センター（総社市社会福祉協議会内）
 TEL: 92-8578（月～金、8:30～17:15）

障がいのあるお子さんのための

自立支援サポートブック「よろしくね」ができました！

このサポートブックは、障がいのある子どもの知っておいてほしい特性や接し方などを支援者に伝えるための冊子です。

たとえば進学や就職、医療機関への受診など様々な場面で、スムーズに本人が支援を受けることができるよう、情報を共有し、生涯に渡りご活用いただくことを目的としています。

以前のものよりも書きやすく・見やすくなり、巻末情報も充実しました。

ぜひ、ご利用ください！



- 様式は、総社市社会福祉協議会のホームページからダウンロードできます。（ご希望の方には印刷したものをお渡しすることもできます。）
- 記入方法等が分からない場合はアドバイスいたします。

ダウンロード方法

総社市社会福祉協議会ホームページ【<http://www.sojasyakyo.or.jp>】
 HOME ⇒ 活動予定・報告 ⇒ 年間活動予定
 ⇒ 「サポートブック『よろしくね』が改訂されました！」からダウンロード♪



スマートフォン、タブレットの方は
こちらからアクセス！